

研究グループ交換：推進の手引き

ロータリー財団の新たなビジョンから新しい広報の機会が生まれる

1965年以来、研究グループ交換（GSE）プログラムは、7万人を超える男女に対し、職業的、教育的、文化的な価値のある交換の機会を提供してきました。近年、多くの地区は、GSEの可能性を広げ、さらに焦点を絞った交換を行うために、画期的なアイデアを模索してきました。こうしたアイデアの価値を認めた財団管理委員会は、2008年、財団の使命声明を改定するとともに、財団の新しい6つの重点分野（母子の健康、水と衛生設備、疾病予防と治療、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展、平和と紛争予防／紛争解決）に沿った活動を行うよう、全地区に奨励することに合意しました。

計画段階に広報を盛り込む

GSEで新たなアプローチが取り入れられ、広報にも新たな可能性が生まれています。GSEの計画段階の早い時期から、広報を考慮に入れましょう。チームが幅広い地域社会の活動に関われば、広報の効果も最大限に高まります。地区は、さらに柔軟に地元のニーズに取り組むために、さまざまな私たちのGSEチームを形成できるようになりました。以下に挙げたGSEは、交換の成果を末永く持続させると同時に、ニュース性が高く、人々の関心を高めるような交換を行う可能性をもたらします。

- **重点分野GSE：**一つまたは複数の重点分野に関連する職業を持つ参加者から成るチームが、交換を行います。まず地区は、地元地域が得意とする分野とニーズを調べます。得意分野が重点分野と関連している場合、この分野の専門職に就く参加者を地元で募集し、相手地区に派遣して専門知識を分かち合ってもらいます。同様に、地域のニーズが重点分野と関連している場合には、この分野の知識を学ぶことに関心のある専門職業人を相手地区に派遣し、現地で学んだ知識を持ち帰って地元に戻元してもらうこともできるでしょう。
- **単一職業GSE：**同じ専門職業を持つ参加者から成るチームが交換することにより、職業的な視野を広げながら、訪問先の地域に実りをもたらすことのできる貴重な機会です。職業面での情報交換に関心のある参加者を募集し、チームを形成します（例：医師、教育者、農業従事者、エンジニアなど）。
- **文化的GSE：**バレリーナが技術を磨くのにロシアのポリショイバレーほど適した場所はありませんし、脚本家がインスピレーションを得るのに英国のグローブ座ほど理想的な場所はありません。文化的交換は、芸術家、作家、音楽家、言語学者、美術館学芸員などが、クリエイティブな側面に焦点を当てたGSEを通じて、才能や関心を分かち合う機会となります。職業訪問日には、アルゼンチンのタンゴ学校の見学やニューヨーク公共楽団のリハーサルの指揮など、さまざまな活動を組むことができます。
- **隣国とのGSE：**国家間が対立関係にあらうと、友好関係にあらうと、国境を分かち合う国々には常に交流の機会が存在しています。隣国GSEは、国境を接しているか、または近接している国に所在する2地区間の交換です。複数国にまたがる地区の場合、国境を共有したり、国境が近接している地域間の旅行が基本となります。
- **ロータリーのない国とのGSE：**メディアは、新しいことや「初めて」のことに関心を抱くものです。GSE交換は、通常、ロータリーのある国の間で行われますが、近年、ロータリーのない国々（ベトナムなど）との交換も行われています。GSEがきっかけとなって、新しい地域にロータリーが拡大するケースもあります。これらの地域ではロータリーという概念が目新しいため、現地メディアの関心を引きやすいと言えます。また、ロータリーのない国からの訪問者を迎えることは、地元にとっても珍しいニュースとなるでしょう。

- **人道的GSE:** 交換中に培った友情をさらに深めていくために、受入地区の人道的ニーズを見つけ、財団補助金の提案を携えて帰国するGSEチームが数多くあります。例えば、第6290地区（カナダと米国）および第2440地区（トルコ）が行ったGSEでは、両地区の間に強い絆が生まれ、交換の後にも連絡を取り続け、マッチング・グラントを協同で申請しました。両地区からの支援と寄付に加え、財団の補助金が得られたことで、生活福祉のないトルコの女性たちのために乳がん検診の機器を提供することができました。この機器のおかげで、今後10年間に推定5万人の女性の検診が行えると、地区のリーダーは考えています。

GSE参加者を募る

GSEプログラムが有意義なものとなるかどうかは、参加者次第です。優れた参加者となる可能性を秘めた人々を多く集めるため、地元のさまざまな場所で参加者募集の広報を行うことが大切です。

- **メディアに知らせる。** 地元の新聞社、雑誌社、テレビ局、ラジオ局に、申請者募集に関するプレスリリースを送ります（見本を参照）。例えば、第5170地区（米国カリフォルニア州）は、中米に派遣されるGSEチームの候補者を募集するために、30秒と60秒のラジオ用公共奉仕広告を制作しました。地元のラジオ局数社がこの広告を放送した結果、申請希望者が殺到しました（見本を参照）。
- **人目を引くような広告を作成する。** ロータリアンは、地元の新聞や雑誌の広告スペースが割引で購入できることがあります。地元のグラフィックデザイナーや新聞社の広告担当部に相談してみましょう。広告には、簡潔な見出し、GSEの目的と派遣地に関する数行の説明、実施予定時期、申請資格、申請締切日、連絡担当者の電話・ファックス番号とEメールアドレスを明記します。
- **地元の雇用主にプログラムについて知ってもらう。** 長期間（最長6週間）仕事を休まなければならないことを心配する申請者もいるはずですが、ですから、地元の雇用主にGSEの恩恵を理解してもらい、サポートを得ることが重要です。今後予定されている交換についての情報や、GSEパンフレット、申請資料を人事部に送り、これを社員や従業員に渡してもらうとよいでしょう。大企業の場合、ロータリアンが人事部を訪ねてGSEについて説明し、申請するにふさわしい社員を紹介してもらうこともできます。また、図書館やその他の公共施設にGSE資料を掲示し、たり、ウェブサイトを開設するのも一案です。
- **ロータリーのネットワークを利用する。** GSE元参加者の多くは、友人や同僚、GSE経験のあるロータリアンから、このプログラムについて聞いたことがきっかけとなったと述べています。今後予定されているGSEの情報をクラブに送り、申請できそうな同僚や友人に情報を伝えてもらいます。さらに、元参加者は、広報の心強い味方となってくれるでしょう。今後のGSEの予定について元参加者に伝え、自身の体験談や、参加することの意義を人々に話してもらいましょう。
- **ソーシャルネットワーキングを利用する。** 専門職業に就く若い人々と出会い、GSEプログラムについて紹介するには、ソーシャルネットワーキングの活用が最適です。ロータリーはFacebookに公式ページを開設しているほか、ツイッター、LinkedInグループ、独自のYouTubeチャンネルも開いていますので、ぜひこれらのサイトを活用してください。これに加え、GSEでの体験に関するブログを開設している元参加者も大勢いますので、これを広報に利用することもできるでしょう。

各地区が財団学友のデータベースを作成し、管理するよう奨励されています。財団にお手伝いできることがありましたら、RI世界本部の財団学友担当課までご連絡ください。

メディアの力を利用する

メディアは、おもしろく、視覚的に楽しむことができ、時代をとらえた今日的な話題を探しています。海外から来訪したチームが地元にもたらしてくれる国際的視野は、人々の関心を引くだけでなく、人間味あふれるニュースとなるでしょう。申請者募集のプレスリリースを送るにとどまらず、広報活動をさらに広げてください。海外からのチームの訪問について記者やメディアに連絡する際には、滞在中の日程表や連絡担当者の電話・ファックス番号とEメールアドレスを必ず伝えます。また、訪問チームメンバーの簡単な略歴も添えるとよいでしょう。チーム到着の遅くとも一週間前までには、メディアに情報を提供しておく必要があります。

写真を提供する

メディアに取り上げてもらふチャンスをつかむ方法の一つとして、人々の好奇心をそそるような写真を新聞社に提供したり、ニュース番組で流せる映像が撮影できる機会をテレビ局に伝えるのも一案です。地元新聞社がカメラマンを派遣できない場合には、自分たちで写真を撮り（またはプロのカメラマンを雇い）、写真をメディアに送付します。視覚的に魅力のある高画質の写真を送れば、掲載してもらえる可能性が高まるでしょう。

写真には見出しを添え、その場面の説明と写っている人の氏名をすべて明記します。

写真を撮る際には、クリエイティブな感覚を持つよう心がけてください。カメラの前にずらっと並んだ団体写真は、人々の関心を呼ぶものではありません。活動の様子を生き生きとらえた写真や、GSEのストーリーや目的を伝えるような写真を撮りましょう。以下はその例です。

- 現場の写真：チームのメンバーと地元の人々が協力して活動する
- 2つの異なる文化が交流している様子
- 講演を行うGSEメンバー
- 奉仕プロジェクトで地元のロータリアンや子供たちと協力しているGSEチーム
- できる限りロータリーの徽章が写るようにします（標識、シャツや帽子など）

出版物や展示で使えるようなGSEの写真を、国際ロータリーまでお送りください。

チームメンバーの準備を整える

GSEの現・元参加者は、このプログラムのスポークスマンとなるのに最適な人材です。交換中、チームメンバーは、ロータリーや母国について現地の人々の前で話す機会があるため、一般的なロータリーの知識や、派遣地区が実施している活動について事前にメンバーに伝え、準備を整えておく必要があります。チームメンバーのためのオリエンテーション（説明会）には、メディアとのインタビューや質疑応答の模擬練習を盛り込むとよいでしょう。出発までに、メンバーは、以下をできるようにしておく必要があります。

- ロータリー・クラブやそのほかの団体の人々に、母国について簡潔に説明する
- メディアや一般の人々から質問に効果的に答える
- ロータリーのプログラムや活動について、豊富な知識を交えて話すことができる

成果を出す

広報の最大のチャンスは、交換が終わった後に訪れることもあります。1989年にニュージーランドからスウェーデンを訪問した視覚障害者GSEのチームメンバー、クリス・オールさんは、ロータリーとの関係をずっと保ち続け、クラブとともに視覚障害者のための複数のプロジェクトを生み出しました。視覚障害者のためのロイヤル・ニュージーランド財団で盲導犬の訓練を担当しているオールさんと、オークランド（ニュージーランド）のニューマーケット・ロータリー・クラブが実施したプロジェクトでは、「話す本」を制作するためのスタジオに資金が提供されました。

また、GSE交換の結果、マッチング・グラントの新しいプロジェクトや、派遣・受入地区合同の奉仕プロジェクトが生み出された事例や、画期的なアイデアを携えて帰国したチームメンバーが、職場でこれを生かした事例もあります。目に見えるかたちでGSEの成果を出すことによって、交換がもたらす末永い恩恵を紹介できるだけでなく、地元メディアに人間味あふれる話題が提供できるでしょう。

好ましくない事態が生じた場合

チームメンバーがけがをしたり、窃盗の被害に遭うなど、交換中に体験した不快な出来事について、メンバーが記者やメディアに伝えてしまうことがあります。あなたが最善を尽くして対応したにもかかわらず、事態が収拾できないこともあるでしょう。このような場合、記者やメディアから、好ましくない内容のニュースとして取材の依頼を受けても、正直に答えるのが賢明であり、決して事実を隠匿すべきではありません。すぐに質問に答えられない場合、回答を急がず、まずは適切なアドバイスを受けるようにしてください。問題が解決したら、記者に連絡し、事態への対応が正しく取られたことを説明しましょう。

好ましくない結果を招く可能性のある記事や広報が出てしまった場合には、地区ガバナーおよびRI世界本部のGSE担当職員に報告してください。

広報のリソース

GSEプログラムの広報に活用できる出版物や資料が国際ロータリーから発行されています。資料のご注文は、オンラインカタログ (shop.rotary.org) またはRI日本事務局資料室までお願いいたします。

- **研究グループ交換パンフレット (160)** : GSEプログラムに関する基本的な情報を紹介。メディアまたは雇用主に送ったり、人の往来が多い場所に掲示したり、プログラムに関心のある人々に渡す目的で活用できます。
- **ロータリーとは (001)** : すべてのクラブに必携の資料。色刷りの写真入りパンフレットは、一般の人々、会員候補者、ロータリーの奉仕の受益者向けにロータリーの概要を説明するものです。また、ロータリー以外のイベントに出席する際に広報資料として持参することもできます。
- **ロータリー大要 (ロータリーとは) (419)** ロータリーの組織と活動内容を簡単に説明した名刺サイズの便利なカードで、ロータリアンでない人々への配布用として好評です。
- **ロータリー情報資料集 (概要資料) (ウェブのみ)** : ロータリーの素晴らしい活動について伝えるため、プレスリリースや推進用資料を作成する際に参考にできる7つの情報資料を取っています。
- **A Guide for Rotary Clubs (効果的な広報: ロータリー・クラブのための手引き) (257)** 広報活動を始めるための「ハウツー」を紹介。クラブ活動の広報の際に参考にできるとともに、各種広報資料についても紹介されています。
- **Rotary PR Tips (広報のヒント) (ウェブのみ)** : 地域社会でロータリーを広報する方法を探しているクラブや地区のための情報です。このニュースレターは月2回送信され、世界で起こっているニュースとロータリーとを結びつける方法など、画期的な広報のアイデアを紹介します。定期受信のお申し込みは、www.rotary.orgからオンラインで、またはEメール (pr@rotary.org) でご連絡ください。
- **ロータリーとは (DVD) (449)** : ロータリーとはどのような団体か、また、世界中でどのような活動を行っているかを紹介したストーリーをまとめたこのDVDは、感動的な例会プログラムの一環として、会員候補者にロータリーを紹介する方法として、あるいは地元地域で奉仕活動を促進する手段としてお役に立ていただけます。DVDは、27分間の番組として全編を放送できるほか、個々の話を別々に放送することも可能なため、全編あるいは一部を放送してもらえるかどうか、地元のテレビ局に問い合わせることをお勧めします。
- **人類のために活動しますV (607)** : ロータリーの世界公共イメージキャンペーンの次段階となるこの公共奉仕広告のディスク4枚組セットには、会員増強を推進し、ロータリーのポリオ撲滅キャンペーンについて伝えるためのテレビ用、ラジオ用、印刷用、インターネット用、屋外広告用 (看板など) の広報材料が収められています。公共奉仕広告は、www.rotary.org/humanityinmotion (画面下の「日本語」をクリック) からダウンロードすることもできます。無料 (1人1セットまで)
- **GSEパンフレット (304)** : ダウンロードまたはカタログからご注文ください。

詳細のお問い合わせ先

ロータリー財団研究グループ交換プログラムの広報と推進に関するお問い合わせは、RI広報担当部まで、電話 (1-847-866-3237)、ファックス (1-847-866-8237)、Eメール (publicrelations@rotary.org) でお寄せください。

プレスリリースの見本：チーム参加者の募集

(問い合わせ先情報をここに挿入)

親善使節として (国名を挿入) との交換に参加できる社会人をロータリー・クラブが募集

(都道府県) (市町村)、(日付)：(地区・クラブ名や地域名を挿入) では、ロータリー財団の「研究グループ交換」プログラムの一環として (年と日付) に (国名) を訪問する優秀な社会人を募集しています。

このプログラムは、2国間で、専門職業を持つ社会人のグループが互いの地域を訪問し合い、母国について紹介したり、習慣、職業、生活様式などを体験するものです。ロータリー財団からの補助金で、4～6週間、海外の一定地域を訪問します。

研究グループ交換プログラムの目的は、人と人との触れ合いを通じて、国際理解と親善を推進することです。海外滞在中、グループのメンバーは現地のロータリー会員の自宅でホームステイをしながら、自分と同じ分野の職業を持つ人々と交流します。また、メンバーは、現地ロータリー・クラブやその他の団体で講演やスピーチを行います。

ロータリー財団が往復航空運賃を提供し、相手国の地元ロータリー会員が、食事、宿泊、現地交通手段を提供します。個人的な費用や雑費は、グループのメンバーが負担します。

一般に認められた企業や専門職業においてフルタイムで勤務していることが、参加申請の資格となります。年齢25～40歳までの若い専門職業人には、申請が奨励されています。申請者は、当ロータリー地区 (地区番号と地域を挿入) 内に居住または勤務していなければなりません。

申請資料の入手およびお問い合わせは、(地元での窓口となる担当者の氏名、住所、電話番号、Eメールアドレス) までご連絡ください。申請の締切日は (年月日を挿入) です。

ラジオ用公共奉仕広告の見本：研究グループ交換チームメンバーの募集

留意事項：この原稿をラジオ局の番組ディレクターに送る際には、広告の趣旨と対象者に関する説明を添えてください。また、パンフレットや概要資料など、GSEプログラムに関する基本情報も添付してください。

ロータリーによる海外派遣者の募集 — 30秒

ロータリーでは、(月) に (国名) に派遣される親善グループに参加できる、熱意ある優秀な社会人を募集しています。ロータリーがスポンサーする「研究グループ交換」プログラムでは、人と人との触れ合いを通じて国際的な理解を育むチャンスを、(地元地域) に住む社会人に提供します。このグループに参加する5人のメンバーが、同じ職業に就く (国) の人々と交流し、現地ロータリー会員の自宅でホームステイをしながら、人々とのふれあいと文化を直に体験します。

専門的な職業に就く、25歳から40歳の社会人で、(地元地域) からの代表として親善グループに参加することに関心のある方は、電話 (電話番号)、ロータリーまでお問い合わせください。